

私立 今治明德短期大学

取組名称 **就職相談員配置に伴う新たな就職活動支援態勢の強化対策**

取組担当者 **幼児教育学科 准教授 阿部 清子**

1. 本学の概要

今治明德学園は1906(明治39年)5月1日に創立され、今治技芸女学校から1966(昭和41)年4月12日に今治明德短期大学が開学した。現在はライフデザイン学科(介護福祉コース、食物栄養コース、製菓製パンコース、文化コミュニケーションコース)定員110名と、幼児教育学科定員40名及び、別科調理専修定員40名を開設している。2010(平成22)年5月1日現在の在学生数は、ライフデザイン学科225名、幼児教育学科64名、別科12名、合計301名である。

本学の建学の精神は「明德を明らかにする」ことにある。「明德」とは、生まれながらにして持っている素晴らしい天賦の徳性であり、教職員と学生がともに学び合う関係で逞しく生きていく力に昇華させていくことを目指している。

本学の教育目標は、次のとおりである。1) 学生一人ひとりに固有の徳性を尊重する多様で柔軟な教育。2) 小人数教育を通じて学生が教師と直接ふれあえる人間教育。3) 基礎から積み上げる学問、行き届いた技能訓練と綿密な実習指導を通して、確かな学識と優れた実践的技能を修得させるような教育。

2. 本取組の概要

本学は、介護福祉士、保育士、幼稚園教諭、栄養士、栄養教諭、製菓衛生師の養成校であり、学生には、免許・資格を生かすことのできる分野への就業が期待される。ただ、昨今の雇用情勢の悪化、また、地域性もあって、学生の希望する職種に就くことが年々困難になっている。特に、保育士は臨時採用が多く、長く安定的に働くことが困難な状況である。今後、続くであろう低迷する就職状況に対応していくには、就職支援態勢の一層の充実が必要である。これまでは、教員がそれぞれの担当する学生の就職相談にも対応していた。しかし、教員では、時間的にも専門知識の面からも制約が大きく、十分な就職支援活動を行うことができな

かった。そこで、就職支援推進プログラムの実施により、就職相談員を就職指導室に新たに1名配置した。

就職相談員を配置することで、就職支援態勢を強化している。第一に、これまではほとんど実施することができなかった地元企業訪問を行う。就職進学委員会の教員のみで対応してきた昨年度までは、卒業生の就職先へのお礼を兼ねた訪問は実施してきたが、新たな求人開拓につながるような企業訪問は全くしていなかった。

就職支援員は、求人依頼等のための地元企業訪問等の活動を行うのみならず、第二には、関係する企業、施設、またハローワーク等と一層緊密な連携をとりつつ、就職情報を収集し、それを学生に提供している。日常的に学生へのキャリアカウンセリングを行い、個々の学生の適性、性格、希望を見据えたきめの細かい就職支援を展開する。就職相談員は進路相談室に基本的に常駐しているので、学生は空き時間等の都合のよい時に、専門的な観点からの支援を受けることができる。

第三として、全学生を対象とした就職進路ガイダンスの態勢を充実させる。

一般的な学生への働きかけ(進路希望調査や就職ガイダンス等の実施)を行うと同時に、学生一人ひとりに対応した個別就職進路指導を徹底する。これらの活動を通じて、就職進学委員会の就職支援態勢の強化を図っている。

3. 本取組の趣旨・目的・達成目標

専門的な知識、技術を身につけた学生がそれぞれの免許・資格を生かした仕事に従事することは社会にとっても有益であることはもちろんのこと、学生一人ひとりにとっては自分の夢が達成できるかどうかという大きな意味を持っている。専門職に就きたいという志を持って入学した学生が、短期大学で身につけた力を発揮できるような分野に就職できるよう、支援する。

就職相談員を就職指導室に新たに1名配置して学

生の就職進路ガイダンスの態勢の充実を図るとともに、求人依頼等のための地元企業訪問等の活動を行い、学生一人ひとりに対応した個別就職進路指導を徹底することを通じて、就職進学委員会の就職支援態勢の強化を図るものである。

本取組では就職相談員は、地元企業や青年商工会議所等と学内の教職員とが、学生の就職支援を協力して行うことができるよう、連携を強化する。学内では、この就職相談員を中心に就職進学委員会と各学科コースが協力し、学生一人ひとりに合ったきめ細かな就職活動支援をすることによって、希望者全員が専門職又は一般職へ就職することができることを目標とする。

4. 本取組の具体的内容・実施体制

学外では、就職相談員がハローワーク、えひめ若年人材育成推進機構（愛ワーク）や実習施設との連携を通して、求人情報を把握する。また、地域の事業者を訪問して求人開拓に努める。学内では、就職進路ガイダンス（適職診断、卒業生・地元企業人事担当者らによる講演会、面接マナー講習、職場訪問等を含む）及び個別相談を1年生前期から定期的に行う。この学内外での支援によって、就職率の向上が図られる。

学長の下に組織されている運営委員会に所属する就職進学委員会（就職相談員を含む）が委員会組織としてこの実務に当たるのに際し、各学生の学生生活全般の指導を担当する指導教員や実習指導担当者との連携を密にするとともに、既卒生の就職相談にも窓口を開放して地元企業等とも連携しつつ適宜対応することで、全学を挙げて学生・既卒生の就職を支援することが可能な体制となっている。



写真1 進路課に設置された就職支援相談室

就職支援員が常駐し、学生に個別に対応する。相談室の廊下隔てて向かいに新たにコンピューター・ルー

ムを設置した。



写真2 コンピューター・ルーム ①

学生は自由にパソコンを使って情報収集を行ったり、「自己PR」や「志望理由書」等、就職活動に欠かせない文章作成を行うことができる。ネット上の就職情報サイトから企業や事業所へエントリーすることもできる。



写真3 コンピューター・ルーム ②

コンピューター・ルームの一角に求人情報の掲示板を設けている。すぐそばにコピー機を設置し、利用する学生の利便性を図った。



写真4 屋外掲示板

2010(平成22)年度具体的な就職ガイダンスの実施予定(すでに実施したものも含む)は次のとおりである。

(1) 2年生対象

- 第1回 就職進路ガイダンス
- 第2回 就職進路ガイダンス (履歴書の書き方・面接対策)
(毎日コミュニケーションズに委託)
5月20日(木) 14時30分～16時
(ライフデザイン学科)
16時10分～17時40分(幼児教育学科)
- 第3回 就職進路ガイダンス(職場適応教育講座)
(愛ワークからの派遣講師による) 亀岡幸子氏
7月15日(木) 14時30分～16時 (栄養・文化)
16時10分～17時40分(幼児教育・介護福祉)



写真5 職場適応教育講座の様子 ①



写真6 職場適応教育講座の様子 ②

- 第4回 就職進路ガイダンス
地元企業人事担当者による講演会

(株)新来島どっく
業務財務本部総務部副部長森克司 氏
8月25日(水)成績手交日
13時～14時30分(栄養・文化・幼児教育)
及び10月5日(木)14時30分～16時(介護福祉)

- 第5回 就職進路ガイダンス 教育進路懇談会
9月5日(日)13時～16時
この他、随時各コース毎の卒業生による講演会

(2) 1年生対象

- 第1回 就職進路ガイダンス パソコン室(自己分析・適職診断)
(毎日コミュニケーションズに委託)
6月16日(水)16時10分～17時40分(製菓・文化)
6月17日(木)14時30分～16時(栄養)
16時10分～17時40分(幼児教育)
7月1日(木)14時30分～16時(福祉)
 - 第2回 就職進路ガイダンス 教育進路懇談会
9月5日(日)13時～16時
 - 第3回 就職進路ガイダンス(自己PR・履歴書の書き方)
(毎日コミュニケーションズに委託)
10月22日 8時50分～10時20分
12月16日 14時30分～16時
1月20日 14時30分～16時
 - 第4回 就職進路ガイダンス(自己PR・志望理由書作成)
2月9日(水)
 - 第5回 就職進路ガイダンス(面接対策)
(毎日コミュニケーションズに委託)
3月15日(卒業式準備日)午後
- ※この他、随時各コース毎の卒業生による講演会

5. 本取組の評価体制・評価方法

本取組では、自己点検専門委員会での上位評価の手法等も活用して、重層的な評価体制を構築する。まず、学生を対象としたアンケート・面接調査を1年生前期から定期的に行う。同時に、既卒生の就職先を対象としたアンケート・訪問調査によって学生・事業者双方のニーズにあった支援を行えているか評価する。さらに、就職進学委員会により就職率等のデータ分析を行

う。

この他に、各ガイダンス毎に学生が提出する「就職ガイダンス 出席票」によって、各ガイダンスについての学生の満足度を含めた意見を知ることができる。

2010年度 就職進路ガイダンス 出席票 (1年生)

コース	番号	氏名	
-----	----	----	--

この出席票は、ガイダンス開催時に配布します。各ガイダンスで学んだ内容を具体的に記入してください。各自が就職進路についてどんな可能性があるのか、何を準備すべきかを確認して、無い就職進路等欄に設定してください。

第1回 進路診断・自己分析

第2回 地元企業人等担当者による講演会

第3回 卒業生による講演会

第4回 自己PR・履歴書の書き方

第5回 合同会社説明会とは

第6回 面接対策

来年度への抱負

6. 本取組の実施計画等

本取組では、地元の連携先との情報の共有を図り、就職指導室に各種情報（求人票、求人情報誌、就職ガイダンス情報誌、等）を揃える。学生用IT機器等を整備することで、就職情報への更なるアクセスを確保する。1・2年次を通じた就職進路ガイダンスを年間計画に基づいて開催し、学生への個別相談を継続的に実施することによって、希望者全員の就職を目指す。

- ①就職進路未内定の学生に対する再度の就職進路希望調査を行うことにより、未内定学生の就職に対する意識の向上及び意志の再確認を図ることができる。
- ②就職進路未内定の学生に対する個別カウンセリングを行い、就職への具体的なイメージ作りを行うことでより積極的な就職活動が期待できる。
- ③就職進路未内定の学生に対し求人情報とのマッチングを行い、就職希望先の絞り込みを行うことで、就職試験への挑戦を粘り強く行わせ、卒業時の内定率を70%程度にまで上昇させる。

- ④求人依頼のために地元企業を中心に訪問し、更なる就職先の開拓に努めることで、就職先の選択肢を増やすことができる。

ハローワークの求人情報を大学内で検索可能にするためのサイトの利用を推進したり就職情報専用の掲示板を設置することで、学生が気軽に求人情報を得ることができ、日常的な就職意識の向上にもつながる。

図1 「就職ガイダンス 出席票」(表裏)